

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 12月 15日

事業所名 放課後等デイサービスリアンン府中美好町

		チェック項目	はい	どちらでもない いえない	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	3	0		仲間と自由に動き遊べるフロアの他に、一人で過ごせる部屋や遊びのコーナー等を設けています。	利用児童も特性に合わせて、訓練室や付属の部屋の見直しや利用等を検討し、より機能的に快適に過ごせるようにします。
	2	職員の配置数は適切である	6	4	1		基準以上に配置しています。外出時や個別対応が必要な時には支援員を増やせるようにしています。	職員の欠勤には、職員体制・支援体制を対応できるように、BCP作成を行います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	4	0		増築し、洗面所の所に段差ができ、介助時には注意しています。	段差の所については、段差も機能訓練と考えると、事故のないように安全を心がけ、今後も注意して支援を行います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	4	2		連絡ノートや口頭にて改善とその報告、経過報告等、共有しています。	PDCAを明確にし、非常勤の職員にも、業務改善等を共有できるようにします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2	0		毎年保護者アンケートを実施し、ご意見を参考に改善につなげています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2	0		ホームページに公開しています。	ホームページに公開していることを周知徹底します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4	3		懸案事項になっていません。	第三者による外部評価は検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	6	0		外部研修は、内部の研修においても行い、定期的に虐待や感染等の研修は行っています。勤務体制に合わせて随時行っています。	非常勤の方の勤務に合わせて、時期を決めて集中して行えるようにしていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	2	0		定期的にアセスメントを、計画時にはモニタリングを行い、保護者と面談の上、計画に作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3	1		リアン開設当時からのアセスメントツールを使用しています。	非常勤の方にも周知していきます。今後は現在の書式のアセスメントツールを使用していくことを検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	5	0		職員に声掛けて、アイデアを募っています。	非常勤の方にも、参加できるように検討していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	3	0		感染対策に注意し、外出活動やクッキング等取り入れています。	季節に応じて新しいイベントを企画、また保護者の希望を取り入れながら、楽しんでもらえるように工夫してまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	4	0		休日には、平日行えない活動を計画しています。	休日の活動については、事前に支援員全員に周知できるように図ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	2	0		個別支援計画は、児童の個性に合わせて作成、集団と個別の支援を組み合わせ作成しています。STによる個別活動も開始しました。	非常勤の方にも、共有ができるように図ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1	0		開始前に行っていません、その時間に参加できない非常勤の方には口頭で伝えるようにしています。	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	4	1	支援員が振り返り、その日のうちに記録、送迎後には情報共有しています。	勤務終了時間に差があり終了後に徹底するのは難しい状況です、その日に記録し、翌日にはその報告を振り返りを行い共有し、また非常勤職員にもチェック等して共有を徹底できるようにします。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	2	0	日々の記録を行い、問題等が発生した時は共有し検証、改善策を立て実施、経過観察を行っています。	気づきを共有し、支援員との連携して、支援方法を見直し、改善できるようにします。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	1	0	半年毎にモニタリング、計画の変更等話し合い、保護者の方のご意見を伺いながら、作成しています。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	9	2	0	ガイドラインの基本活動の組み合わせた支援内容になっています。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	2	0	サービス担当者会議には、児発管や担当者が出席しています。		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	1	0	2	学校との連絡会には参加しています。情報共有はその都度行い、学校や保護者よりあるいは送迎時等随時行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	3	0	4	現在、医療的ケアが必要な児童は利用しておりません。	医療的ケアが必要な児童を受け入れた時には、医療との連携体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	9	0	必要時には、情報提供をしてもらい共有し、児童の理解に努めています。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	6	0	1	相談センターが隣接しており、利用児の多くを担当している相談員が提供をしており、要望ある時には対応しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	5	2		現在そのような機会はありません。	機会がありましたら研修に参加し、助言を受けながら、職員と共有して改善を図ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	4		現在は児童館等との交流のような機会はありません。	機会がありましたら検討いたします。休日の活動において外出の機会があり、障がいのない児童との触れ合いの機会は自然に行われてます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	8	0		そのような機会がありません。	協議会などへの出席の機会がありましたら、参加し、情報共有します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	2	0		日頃の情報共有は速やかに連絡帳や送迎時電話等で行っており、共通理解と支援につなげています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	6	1		面談時に、傾聴し助言、専門機関の紹介をしています。	ペアレントトレーニングについて、共有できるようにします。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	1	0	見学時や利用開始の契約時には説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	2	0	連絡帳や電話、面談等、その都度支援を行っています。	保護者の皆様のお話を傾聴して、適切に応じられますように支援を行ってまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	7	2	現在行っていません。	保護者会のような交流を望まない方もおり、ご意見を踏まえて検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1	0	苦情等については、直ちに職員で共有、解決を図り、その改善策などを保護者に速やかにお知らせできるようにしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	1	0	毎月活動予定表、出席確認票や、ホームページにて活動の様子などをお知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意している	9	2	0	契約時に説明し、内容について確認し、情報の扱いには注意しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	2	0	コミュニケーションの手段等について、家族や学校と連携しながら行っています。STの訓練を開始しました。	学校やご家庭と連携しながら、ふさわしいコミュニケーション方法を、向上に努めていきます。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7	2	コロナ禍のために、できていません。	夏祭のような行事等で地域の皆様との交流を図っていきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	2	0	各種マニュアルは策定しており、常時閲覧できるようにしています。	職員でのマニュアルの確認や見直し等定期的に行い、保護者の皆様と職員（非常勤含めて）と、周知・共有を図っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2	0	防災訓練は定期的に行っています。	防災訓練の記録を行い、反省や今後に向けての対策を構築してまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	1	0	研修に参加して学ぶ機会を設け、継続できるようにしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	2	0	身体拘束を行う場合は、会議を開き検討、保護者の方に説明、承認をいただき、日々の記録、職員会議を行い、解除向けの対策を検討しております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1	0	医師の指示書または保護者からの情報提供により支援しています。	新入職員にも周知できるようにします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	3	0	再発防止の事業所では随時・社内では定期的に共有しています。	